

# 1-2. 熱中症警戒情報発表時に備えた体制

## 事例6. 北海道札幌市 札幌版熱中症特別警戒アラート

- 札幌市では、環境省が発表する暑さ指数(WBGT)の予報と熱中症警戒アラート等の情報に基づき、**市内における熱中症の危険度が高くなると予想された場合**、札幌市のLINE公式アカウントを活用して、市民に熱中症の注意喚起をする仕組みを運用。
- 環境省の「熱中症特別警戒アラート」の発表基準には満たないものの、札幌市内において危険な暑さが予測される場合には札幌市独自の「**札幌版熱中症特別警戒アラート**」を発表し、注意喚起を行う。

札幌市が札幌版熱中症特別警戒アラートを発表した場合、環境省から熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラートが発表された場合には、札幌市のLINEによる注意喚起を行います。

	環境省の予報・アラート	札幌市の対応 (LINEによる注意喚起)
<b>熱中症警戒アラート</b>  石狩・空知・後志管内の いずれかでWBGT33以上	翌日のアラート:17時に発表 当日のアラート:7時に発表	<b>翌日のアラート:18時までに投稿</b> <b>当日のアラート:9時30分までに投稿</b> ※前日に、翌日のアラートが発表された 場合は当日の投稿なし ※札幌版熱中症特別警戒アラートを発表 した場合は投稿なし
<b>札幌版熱中症特別警戒アラート</b>  札幌市内のすべての地点 (札幌・山口)でWBGT35以上	<b>各日6時の予報で、            7時に翌日のWBGT予測値を            メール配信</b>	翌日のアラート:14時までに投稿 ※当日のアラート発表なし
<b>熱中症特別警戒アラート</b>  北海道内すべての地点で WBGT35以上	翌日のアラート:14時に発表 ※当日のアラート発表なし	<b>翌日のアラート:15時までに投稿</b> <b>※当日のアラート発表なし</b>

北海道には、暑さ指数情報提供地点が約**160地点**あり、エリアによって気候も異なっている。

札幌市内には2地点(札幌と山口)に、暑さ指数情報提供地点がある。

**札幌版熱中症特別警戒アラート**を発表したり、環境省から**熱中症警戒アラート**や**熱中症特別警戒アラート**が発表された場合には、LINEにより注意喚起を行う。

札幌市ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/hyperthermia/hyperthermia.html>

### ■ 苦労した点

土日など閉庁時に注意喚起を行う職員体制の確保。

### ■ 工夫した点

以前は、札幌市のLINE公式アカウントへの投稿の権限を有する広報部門を介して投稿を行っていたが、LINE投稿システムの機能拡大などにより熱中症対策部門から直接投稿を行えるようにした。